

国立環境研究所と

調査を始めます

茨城県つくば市に、環境問題や日本を含む世界のごみに関する問題を調査・研究している、国立環境研究所という機関があります。この研究所の先生と一緒に、大崎町のリサイクルが環境に与える影響を調査することになりました。調べるのは「リサイクルをする中で排出される二酸化炭素の量など、大崎町以外の自治体とどんな違いがあるのか」。この調査結果を元に、より地球にやさしく、暮らしが便利になる分別やリサイクルの方法を探り、実践できるように仕組みを作っていく予定です。調査結果は、また改めてご報告させていただきます。



左：大崎町SDGs推進協議会 サーキュラーヴィレッジラボ所長 大岩根 尚／右：代表理事 千歳 史郎／画面：国立環境研究所 主任研究員 河井 紘輔（*敬称略）

たくさんの方々が大崎町へ視察に来られています

私達が活動させていただく前から、たくさんの方々が大崎町に視察に来られていましたが、2021年も、新型コロナウイルスに配慮しながら多くの方が全国各地からいらっしゃいました。2022年1月末時点で、のべ40地域から170名以上の方々が、協議会を通じて視察にお越しになりました。ここ数年、日本各地の企業や地域が環境問題と向き合い、解決に向けて動き始めています。大崎町の住民の方々が続けてこられた分別・リサイクルに対しても、これからの世界に必要なかつ可能性のある取り組みとして、ますます注目が集まっています。今後、各地からお越しになる方々にとって学びになることはもちろん、住民の方々にも還元できる視察受け入れを行いたいと思っています。



視察の受け入れとご案内の多くを私が担当させていただいていますが、視察に来られた方々のほとんどが、住民の皆様が一丸となって分別に取り組んでいる姿に驚かれます。「ごみ」という言葉の響きだけを聞くと一般的には、汚れているもの、きたないものというイメージが強いですが「大崎町のごみは、とてもきれいですね」という感想をいただきます。これも地域全体で、分別に取り組んでいるからこそだと感じました。今月も最後まで読んでくださり、ありがとうございました！



公式サイトは
こちら

SNSもやってます！



お問い合わせはこちら

一般社団法人大崎町SDGs推進協議会
〒899-7301 鹿児島県曾於郡大崎町菱田1441
ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅 管理棟2F
info@osakini.org / 099-478-1487